

## 鉄道研究部熊本被災地支援報告

## 「ミニ鉄道乗車会」 in 熊本県益城町

日 時 2016年10月1日(土)～2日(日)

場 所 阿蘇熊本空港ホテルエミナース広場

運行時間 1日(土) 11:00～17:00 2日(日) 8:30～10:30

参加生徒 9名(3年3名、2年1名、1年5名) (OBが参加してくれました。)

同窓会や京都田辺ロータリークラブ、大分日田ロータリークラブ、熊本りんどうロータリークラブなどの協力を得て、熊本地震被災地の益城町で「ミニ鉄道」の運行をしてきました。特に卒業生で運送会社を営んでおられる徳永さんには、3年前の福島支援に続いて、ミニ鉄道一式の運搬を無償で引き受けて下さり、現地でも運行に協力をいただいていたことに助けられました。また、3年前に福島支援を経験した鉄道研究部OBも駆けつけてくれて、2日間協力してくれました。

運行当日の天候が心配されましたが、2日間とも良い天候に恵まれ、暑い2日間でした。交通事情により夜行バスの到着が約35分遅れましたが、現地での準備は9時には開始できて、10時半には運行を開始できる状態にできました。



荷下ろし



線路敷設



線路連結



準備が終わる頃には数人の乗車待ちができ、10時半からの開始式を後に回して、乗車してもらいました。10時50分頃から開始式を始め、校長の挨拶のあと、京都田辺ロータリークラブ、熊本りんどうロータリークラブの挨拶がありました。鉄道研究部の部長も楽しんで下さいと挨拶をしました。乗車してくれた小学生から楽しかったと感想をいただきました。



校長挨拶



熊本りんどうロータリークラブ



京都田辺ロータリークラブ



益城町立広安小学生



10月1日(土)は小学校や幼稚園で運動会などが開催されていたので、多くの方に乗車していただくことができませんでした。そんな中で、来てくれた小学生が、電話を借りて家族に連絡してくれたり、運動会が終わってから乗車に来てくれたりして、夕方から乗客が増えました。

乗車人数が少なかったこともあり、大分日田ロータリークラブの湯浅さんのご厚意により、被災地を案内していただきました。3~4人ずつが車に乗せていただいて、



倒壊した家屋や隆起したり陥没したりした道路など、現状を実際に見て回りました。



ミニ鉄道運行終了後は、熊本りんどうロータリークラブの住永さんより、地震の体験と現状について話をいただきました。生の声に生徒たちは聞き入っていました。昼に現場を見たこととあわせて、貴重な体験をさせていただき、生徒の心にしっかりと響いていました。

10月2日(日)は朝8時半からの運行に備え、8時には準備を始めました。昨日にTV局や新聞社の取材があり、「ミニ鉄道」の運行について、夕方のニュースで流れたり、朝刊に載ったりしたので、8時半になる前に乗車に訪れた親子の列ができました。2日目もいい天気にも恵まれ、暑い日差しの中で運行できました。子どもたちの笑顔がたくさん見ることができ、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんの笑顔も見ることができました。乗車後に機関車の前で、運転手用帽子をかぶっての記念写真撮影会が始まったので、エンジンを止めてしばらく時間を取りました。「記念切符」も喜んでもらいました。名残惜しかったのですが、10時半の最終列車では人間トンネルを作り、無事に「ミニ鉄道」の運行を終えました。乗車していただいた親子の笑顔とともに、私たちも元気をもらいました。



2日目は2時間という短い運行時間でしたが、242人の乗車があり、前日の301名とあわせて、延べ543名に乗車していただきました。

